

4月1日(水曜日)

【新改訳 2017】

ルカ19章45～48節

19:45

それからイエスは宮に入って、商売人たちを追い出し始め、

19:46

彼らに言われた。「『わたしの家は祈りの家でなければならない』と書いてある。それなのに、おまえたちはそれを『強盗の巣』にした。」

19:47

イエスは毎日、宮で教えておられた。祭司長たち、律法学者たち、そして民のおもだった者たちは、イエスを殺そうと狙っていたが、

19:48

何をしたらよいのか分からなかった。人々がみな、イエスのことばに熱心に耳を傾けていたからである。

きょうから日本では新しい事業年度が始まります。学校や職場

には、何か新しい雰囲気があることでしょう。きょうの日課では、受難週第二日目のことを考えます。

主は毎日、宮で教えられました。十字架刑を目前にしながら、神との会見の場であった神殿で、強盗もどきの商売がされ、真の霊的な営みが失われているのに義憤を表されました。

宮は、昔から「祈りの家」とも言われてきました。また、神は宮を「わたしの家」とも言われました。イザヤとエレミヤも記しています。旧約時代の神殿(宮)と今日の教会堂はまったく同じ意味のものではありませんが、多くの共通点もあります。神の民の公同の礼拝、交わり、奉仕の場です。ふさわしく用いられなければなりません。

～祈り～

主よ。あなたの家は祈りの家であることを感謝いたします。どうか、それにふさわしく用いることを得させてください。